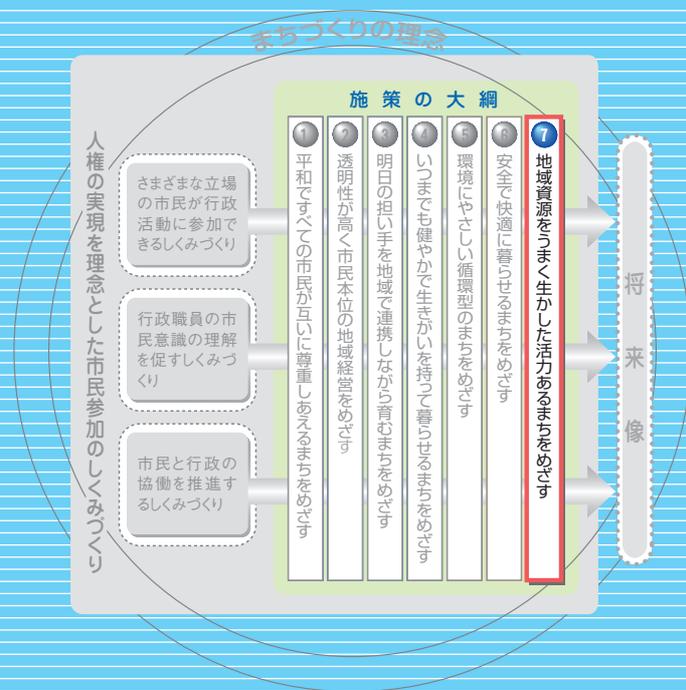


第2章 施策の大綱

第7節

地域資源を うまく生かした 活力あるまちをめざす



1 農業の活性化と農を生かしたまちづくり

■ 時代潮流と背景

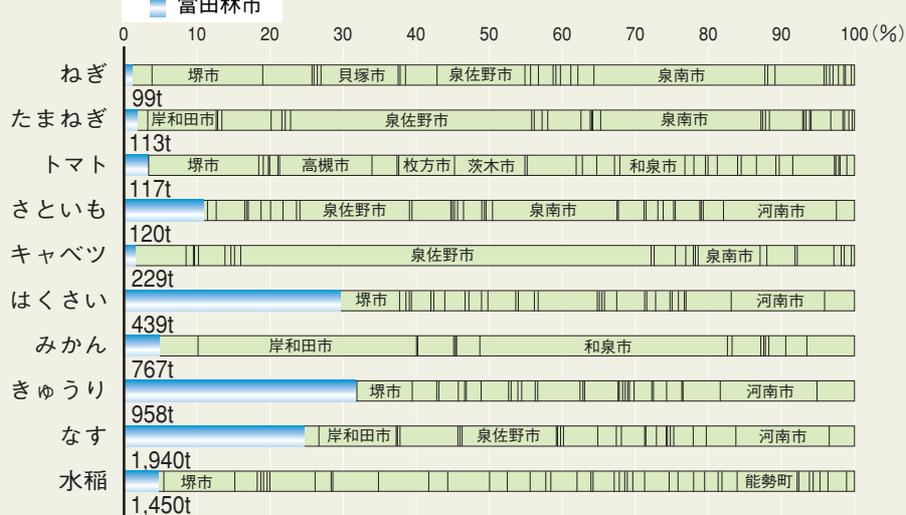
- 農業は食糧供給という国民生活にとって重要な役割を担う産業ですが、輸入農産物の規制緩和の影響を受けるなど国内の自給率は低下傾向を示しており、産業として活性化されてきたとは言えない面があります。
- 一方で近年、従来の食糧生産という経済的な面だけでなく、景観の形成や環境浄化、潤いや安らぎの場の提供、保水機能など、農地の持つさまざまな価値を評価し、まちづくりに活かしていこうという動きがあります。

■ 富田林の現状と課題

- なすやきゅうり、はくさいなどは、大阪府内第1位の出荷量を誇っています。
- 基盤整備や経営の近代化への支援が続けられてきましたが、耕作面積の減少や後継者不足など、農業活性化の成果は必ずしも現れず、優良農地の確保と保全、担い手の育成が求められています。
- 農地を含め自然環境や景観を富田林固有の大切な地域資源として捉え、安全で潤いのある市民生活を支える基盤として評価していく必要があります。
- 農業者の減少や高齢化の進行が見込まれることから、専業農家だけでなく兼業農家なども含めて地域全体で農業を考える必要があります。

大阪府内における主要農産物の収穫量と占有率

(平成17年度大阪の農産物)



方向と目標

<方 向>

- 農業や農地の持つ多面的機能の重要性や価値に対する、市民の広い理解を得ながら地域全体で支える取組みと、農を活かしたまちづくりを進めます。

<目 標>

- 農産物の高付加価値化やブランド化^{※1}への取組みをはじめ、後継者の育成や確保などによって農業が活性化されています。
- 農作物の地産地消^{※2}の活動が市民に広く理解されています。

目標を実現するための施策

① 農業の生産価値の向上

- 食の安全に関心が高まり、新鮮で安全な農産物が求められるなか、大都市近郊という有利な立地条件を活かしながら、富田林ブランドの確立など、農産物の付加価値の向上に取り組めます。

② 農を活かした多面的な交流の推進

- 地域の環境保全や景観形成などにも大きな役割を担っている農業や農地を継続的に維持するとともに、農業公園などを通じて都市住民と農の交流を進めます。



※1 品質や製法、販売方法の改善などで、他の同一製品との差別化を図ることにより、価値の向上を図る。

※2 生産物が、それを生産された地域に供給され消費されること。

① 農業の生産価値の向上

施策の現状

- 農産物出荷額を増加させ農業経営を安定させるよう支援を行っています。
- 農産物生産の基本である土づくりや減化学肥料、減農薬栽培などの環境保全型農業を促進しています。
- 農産物の付加価値の向上のため、地場産野菜などを利用した特産品の研究開発やブランド化をめざしています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">● 農産物のブランド化や販路の開拓など、安定した経営のための活動を支援します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">● 地域の消費者ニーズに対応し、安心安全な地元農産物を利用した商品開発から販売への支援を行います。● 農道やため池、水路など農業施設の改修を行います。● 優良農地^{※1}の保全を図ります。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">● 地域農業の情報発信などを通じて、生産者と消費者の顔の見える交流を創出します。● 学校給食や大型量販店への直販など地産地消を促進します。● 農業協同組合など農を支える地域の団体と連携を進めます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">● 新規就農者を含め、農業後継者の育成を図るための支援を行います。● 減化学肥料や減農薬を推奨し、環境にやさしい資源循環を推進します。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 良好な営農条件を備えた農地。

② 農を生かした多面的な交流の推進

施策の現状

- 農業公園にて、都市住民と農との交流促進を図っています。
- 市民の地域農業への理解と農とのふれあいの場の提供のために市民農園を開設しています。
- 消費者の農への理解を深めてもらうために農業祭を実施しています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 援農ボランティアなど農作業の協力や体験などを通じて、農業への意識を醸成します。• 農産物の生産を通じて市民の農への理解と関心を高めるとともに、健康で生きがいの持てる場として市民農園を提供します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 農業公園などで食農学習を推進し、都市住民との交流を図ります。• 農の持つ景観や環境保全など多面的な機能を啓発します。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 地元農産物の直売所の活性化や地産地消の推進など、消費者と生産者との接点を増やします。• 食農を通じて地域農業への理解を深めます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 遊休農地を活用し、市民農園を拡充します。• 地域の生産者の協力を得て、農業体験の場の提供を進めます。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

2 地域に根ざす商工業の活性化

■ 時代潮流と背景

- 規制緩和による大型商業施設の相次ぐ郊外進出と競争の激化、製造業の海外移転による空洞化、物流機能の進展や情報化によるいわゆる中抜きといった流通や取引構造の変化など、商工業を取り巻く環境は大きく変化しています。
- こうした時代潮流のなか、地域に根ざした商工業の育成という観点から、中心市街地活性化などの面的な取組みや事業者に対する融資などの支援策が展開されてきました。また、ベンチャー企業^{※1}やコミュニティビジネス^{※2}への支援、産官学連携など、多様な事業ニーズやシーズを活かした新しい産業やビジネスの創出を目的とした施策がさまざまに展開されつつあります。
- 地域通貨を活用するコミュニティが増えつつあります。

■ 富田林の現状と課題

- 大型小売店舗やコンビニエンスストアが整備され、またインターネットショッピングなど消費の多様化が進んでおり、そのため既存商店街の空洞化が進み、駅周辺の商業機能が低下してきています。
- 市民生活の利便性向上や富田林らしいまちづくりの観点から、さまざまな地域資源を活用した商工業の活性化の推進が求められます。
- 地域を活性化させるためコミュニティビジネスへの支援も求められます。

製造業の状況



※1 技術や高度な知識を軸に、大企業では実施しにくい創造的、革新的な経営を展開する中小企業。

※2 地域の市民が主体となり、地域の資源を活用して、地域の抱える課題をビジネス的手法で解決し、コミュニティの再生を通じて、その活動で得た利益を地域に還元すること。

方向と目標

<方 向>

- 市民生活の利便性向上や富田林らしいまちづくりを進めるため、地域のさまざまな資源を活用した商工業の活性化を推進します。

<目 標>

- 地域の特色や資源を活かしながら、コミュニティビジネスなどの新しいビジネスの創出や起業が進むことによって、事業所数や出荷、販売額が増加し、雇用が確保され、地域経済全体が活性化しています。
- 魅力ある品揃えやサービスが提供され、消費者が満足する買い物ができ、人々が集う魅力ある環境が形成されています。

目標を実現するための施策

① 商工業経営の活性化

- 経営を取り巻く激しい環境変化のなかで、地域に根ざす事業所などが、地域の特色や資源をうまく活かしながら、持続的で安定的に経営を維持できるような足腰の強い地域経済の形成をめざします。

② 買物しやすい環境形成

- 多様化する消費者の被害やトラブルなどに対し、安心した消費生活を実現するための環境づくりに取り組みます。

③ 雇用機会の拡充

- 就労のための技術向上や雇用機会の拡充、勤労者の福利厚生などの支援に取り組みます。

① 商工業経営の活性化

施策の現状

- 融資利子や保証料の補給を実施して事業者が安定的に経営できるように支援しています。
- 商工団体へ運営補助を行い、商工業者などの育成を支援しています。
- 経営指導や税務相談、勤労者の健康診断、講習会などを支援しています。
- 商業振興ビジョンに基づき商業の活性化を図っています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none"> • 空き店舗を活用し、活気あるまちづくりを推進します。 • ISO 14001^{※1}やエコアクション21^{※2}の認証取得を支援します。 • 商工業者の主体性と自立性をもとにした活性化策を推進します。 	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none"> • インターネットなどを利用した商工業者の情報発信を支援します。 • 後継者や女性経営者の育成、若者などの起業を支援します。 	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none"> • 福祉や環境分野などの異なった業種と連携し、多様な交流を創出します。 • 地域の商工団体や大学などと連携し、商店街の活性化を図ります。 	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none"> • 富田林で生産される商品や提供されるサービスを通じたつながりを地域資源として認識し、これらの資源を活かした商工業の活性化を支援します。 	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 環境を切り口とし経営全般に適用できる環境マネジメントシステムともよばれる国際標準規格で、富田林市ではこの認証取得を支援している。

※2 中小企業や学校、公共機関などに対して、環境への取組みを推進するために環境省が策定した認証登録制度。

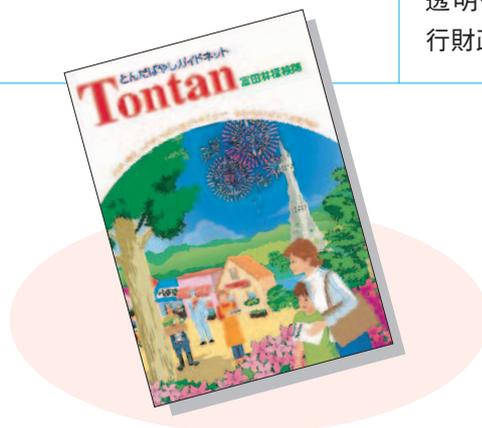
② 買い物しやすい環境形成

施策の現状

- 市民にとって買い物しやすいまちづくりを進めるため、商工団体などと連携し、商店街の空き店舗を活用するための対策を講じています。
- 消費者意識の啓発や消費者相談を行っています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none"> • 商工団体などによる買い物などの情報提供を支援します。 • 悪質な販売などに対し適切な対応ができるよう消費者意識の高揚を図ります。 	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none"> • 消費者ニーズを商業者が把握できるようなしくみを構築します。 • 消費生活情報の収集と提供に努めるとともに、関係機関と連携し消費者相談体制の充実を図ります。 	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none"> • 地域通貨制度など新たな価値の創造と流通を支援します。 • 買い物だけでなく市民が交流し、情報交換できる場の創出を支援します。 	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none"> • 地元産品や特産品の販売情報を提供します。 	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める



③ 雇用機会の拡充

施策の現状

- 関係機関と連携して職業意識、能力を高めるためのスキルアップ事業などを実施しています。
- 労使関係のトラブルなどのさまざまな問題が増加しているなかで、労働相談などを実施しています。
- 富田林在住や在勤の中小、零細企業の事業主や従業員のために、勤労者共済会^{※1}の福利厚生事業を実施しています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 勤労者共済会事業の充実を図ります。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 関係機関と連携しながら就労支援相談、労働相談や能力開発のための事業を推進します。• 労働に関する制度や労働者の権利の周知啓発に努めます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 起業に関する情報の交換の場を設けるなど、新たなコミュニティビジネスの起業支援を推進します。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 事業所や教育機関と協力してインターンシップ^{※2}など就労体験の機会を広げます。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 一つひとつの事業所では実施しにくい福祉サービスを提供するため、事業主と勤労者が集まり、共同で設立されている団体。

※2 学生が事業所などで短期間の職場体験をすること。



3 魅力ある資源と交流のまちづくり

■ 時代潮流と背景

- 定住人口が減少に転じ、また製造業や農林漁業などの従来の産業が低迷するなか、地域内外での相互交流を活発にし、地域の活性化に結びつけようという取組みが全国的に盛んになっています。
- 市街地再開発事業や新たな施設整備などによる環境整備だけでなく、地域固有の多様な資源を活用しながら、地域の市民が主体となってまちを活性化する取組みも注目されています。

■ 富田林の現状と課題

- 富田林には歴史や文化、自然のほかこれらを活かしたレクリエーション施設や都市基盤、企業、大学などがあり、そのなかで人々が暮らし活動しています。
- これらさまざまな物や資産や人を、大切な地域資源として捉え、この地域資源を活かしたまちづくりを進めることが求められています。
- 滝谷不動駅前周辺では、商業者や地域の各種団体が地域活性化のためのさまざまな活動に取り組まれています。
- 地域の商業や工業、農業などの産業が互いに連携するとともに、市民を巻き込んだ交流として発展する必要があります。
- 地域のさまざまな資源を再発見し評価するとともに、特徴的な観光資源や重点的な取組みについては、地域ブランドとして内外に広く情報発信していく必要があります。



方向と目標

<方 向>

- 地域のさまざまな資源を活用しながら、観光資源や地域の取組みを基盤とした交流や情報の発信が活発に行われる、活気あるまちをめざします。

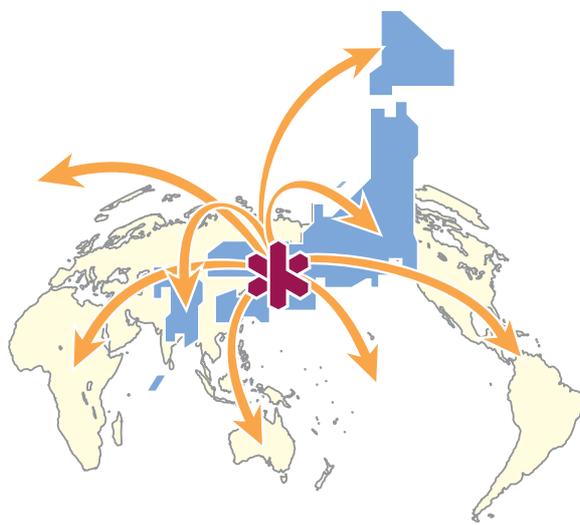
<目 標>

- 地域の多様な主体が参加した活発な交流から、さまざまな活動が生まれ、まちの魅力として成長するとともに、富田林を大切に思い、魅力を感じる人々が富田林の内外を問わず増えています。

目標を実現するための施策

① 地域資源を活かした交流の促進

- 多様な主体が参加しながら、多様な地域資源を再発見し評価するとともに、それらを活かした富田林の内外の交流を促進し、魅力あるまちづくりに取り組みます。



① 地域資源を活かした交流の促進

施策の現状

- 寺内町では、古いまちなみを活用したじない市が地域の商業者が中心となって開催されるなど、さまざまな取組みが行われ、それらがインターネットなどを通じて、広く紹介されています。
- 近隣市町村と連携し、広域的な観光事業の展開や観光協会と連携した観光情報を発信しています。
- 市民活動の交流の場としての市民公益活動支援センターや富田林への来訪者と交流をめざしたじないまち交流館を開設するとともに、大阪大谷大学との包括的な連携をめざした協議を行っています。
- 地域ブランドに関する研究を始めています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 市民や企業、地域コミュニティなど多様な主体が交流し、連携を進められる場づくりを推進します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 地域資源を総合的に捉え、まちづくりに活かすため、積極的に情報交換するとともに、広く地域内外の機関との連携も推進します。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 地域資源のネットワーク化を図るとともに、新たな地域の魅力を発掘します	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 地域資源を活かした魅力ある富田林ブランドを育成します。• 富田林の魅力をさまざまなメディアを利用して積極的に発信し、まちの魅力として高めていきます。	資源循環を推進する
	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める



